



中部森林管理局

〒380-8575長野市大字栗田715-5

☎(026)236-2531

<http://www.chubu-forest.go.jp/>

広報 中部の森林



創刊号



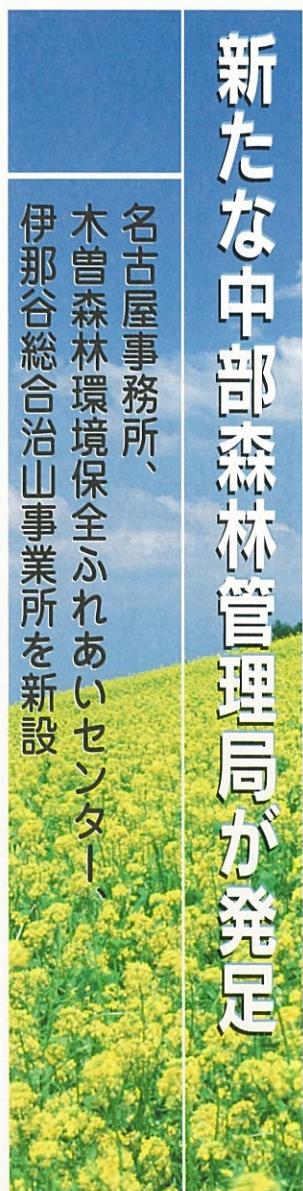
上：新たに設置された名古屋事務所
右：新しい看板を披露する関局長（右）と山崎次長



新しいふれあいセンターの看板を掲げる、関局長と鷹野所長

新たな中部森林管理局が発足

名古屋事務所、
木曽森林環境保全ふれあいセンター、
伊那谷総合治山事業所を新設



看板の除幕式を行う関局長と石田所長

国有林野事業における抜本的改革の集中改革期間が終了し、平成十六年四月一日より、新たな体制による中部森林管理局が発足しました。

これに併せて、円滑な地元対応等を目的に「名古屋事務所」が新たに設置されました。

また、NPO等との連携をはじめ新たなニーズに応ずるべく「木曽森林環境保全ふれあいセンター」が日義村に、さらに、災害の歴史を有する地域の国土保全を行うべく「伊那谷総合治山事業所」が飯田市に新設され、名実ともに「国民の森林」国有林を目指して、新しい中部森林管理局がスタートしました。



『集中改革期間終了後の 新たな年度にあたつて』

中部森林管理局長

関 厚

する次第であります。

この度、森林管理局も再編と有する新たな体制の中で再出発することとなりました。

皆様方が歩まれた伝統ある営林署も統合という形で姿をかえることについては、私自身も含め、多くの方々がそれぞれの思いを持つていることと思います。

新たな国有林の出発点である平成十六年度が始まるにあたり、職員の皆さんにひと言ご挨拶申し上げます。

まずは、抜本的改革の集中改革期間においては、国有林野の管理経営を公益的機能重視に転換するとともに、組織の再編を含め改革諸課題に取り組んできただところであります。今までにない大きな変化の中で、職員の皆様には多大なご労苦を頂いたことに対しまして、深く感謝

阜県、愛知県の四県にまたがる地域には、立山、槍ヶ岳、御岳乗鞍といった三千メートル級の峻険を有す「日本の屋根」と呼ばれる山岳が中央を縦断し、その東西に広がる日本有数の景勝地を含む実に多種多様な森林を有しております。

時代も変わり、森林・国有林に対する国民の要請、期待も変わってきてますが、今般の大いな組織再編の中にあっても、①的確な地元対応や円滑・効率的な事業実行の確保のため名古屋事務所、②NPO等との連携をはじめとする新たなニーズに応えるべく木曽森林環境保全ふれあいセンター、③災害の歴史を有す地域の国土を守るべく伊那谷総合治山事業所が設置されたところであり、これらの組織機能を最大限発揮する中で国民の負託に応える必要があります。

集中改革期間が終了し、今後は、抜本的改革の趣旨を踏まえ、簡素で効率的な組織体制の下で、引き続き財務の健全化と国有林野の適切かつ効率的な管理経営を進め、名実ともに開かれた「国民の森林」の実現に向けて取

えています。

中部森林管理局名古屋事務所の開所式が、四月十二日、名古屋市国際会議場において執り行われました。

開所式には、来賓として国の出先機関をはじめ、県、市町村、NPO、関係団体等から約六十名の方々にご出席をいただき開催されました。

名古屋事務所は、組織の統合において、地元サービスに配慮しつつ、公益的機能の維持増進を旨とする管理経営の一層の推進を図り、国民の期待や要望に応えるため設置したものの、①的確な地元対応を確保するための必要な地元関係者との連絡調整等、②円滑・効率的な事業実行を確保するために必要な森林管理署等への技術的指導等を行うこととしています。

名古屋事務所開所式を実施

今後、関係する県、関係団体の意見、要望等の把握、二百万都市名古屋を中心に、地域の特性を活かした情報発信に努めるとともに、名古屋事務所の機能を発揮しつつ、開かれた「国民の森林」の実現に向けて取組んで行きたいと考えています」との挨拶が述べられました。

来賓からの祝辞の後、管内の国有林をプロジェクトにて紹介し、これから名古屋事務所や「国民の森林」国有林のPRを行い、式典を終了しました。

NPOとの連携、新たなニーズに応える

木曽森林環境保全 ふれあいセンターを開所

中部局、分局管内より応募のあった名称の中から、意見が多く、また新しい中部森林管理局に相応しい名称として広報委員会において選定しました。新しい広報誌を今後益々充実していくためにも、職員皆さん一人ひとりの、より一層のご協力をお願い申し上げます。

〔広報室〕

「広報 中部の森林」が決まりました。

中部森林管理局の新しい広報誌の名称に

中部局、分局管内より応募のあった名称の中から、意見が多く、また新しい中部森林管理局に相応しい名称として広報委員会において選定しました。新しい広報誌を今後益々充実していくためにも、職員皆さん一人ひとりの、より一層のご協力をお願い申し上げます。

ターにおいて執り行われました。

同センターでは、国有林を活用して自然再生や生物の多様性の保全等に取組むNPO、森林環境教育に携わる教育関係者の技術支援や情報提供等を行う他、地元自治体・森林総合研究所・林業大学・木曽山林高校等とも連携しながら木曽福島町内の城山国有林を中心に活動拠点を開設していきます。

開所式は、木曽谷の署長等と職員が出席し、局長と所長で木曽森林環境保全センターの看板を取り付けました。

関局長は、挨拶で「開かれた国民の森を目指す事業の一つであり木曽は森林浴の発祥の地」である。また、西部地震後に木曽は、下流域との協力で復旧作業が行われた場所としても意義深い場所でもある。ここを中心として全国に情報を発信し、地域とともにこの活動を実りあるものにして欲しい」と挨拶されました。また、特にこの地は、木曽義仲公の旗揚げの地もあることから、「木曽の情 雪や生えぬく 春の草」という松尾芭蕉の句を紹介され、木曽の地で風雪に耐えて、やがて大きく育つた義仲公のように木曽森林環境保全ふれあいセンターが大きく育つて欲しいと職員に激励があ

りました。
最後に全員で記念写真を撮り、新しい事務所の門出を祝いました。

伊那谷総合治山事業所を開設

伊那谷総合治山事業所の開所式が、四月六日、同事務所において行われ、中部局から関局長ほか関係職員が、また来賓には地元飯田市から松下助役らが出席されました。

伊那谷総合治山事業所は、旧飯田事務所及び、旧駒ヶ根森林管理センターの治山事業を統括的に行うこととして、本年度、新たに設置したものです。

飯田、駒ヶ根、下伊那地域は、中央構造線に起因する脆弱な地質構造のため、三六災害に代表される災害の多発地域であることをから地域住民の生命と財産、水源地の保全するため、引き続き治山事業を実施するとともに、森林の持つ公益的機能の發揮を図ることとしています。

開所式では、関局長と石田所長による看板の除幕式が行われ、職員一同、「安全で安心して暮らせる国土づくり」を推進し、地域の期待に応えるべく、気持ちを新たにしました。

国有林野事業の組織機構の再編

I 組織の廃止

1 森林管理局の分局の廃止

森林管理局名	廃止分局の名称
中部森林管理局	名古屋分局

2 森林管理署の事務所等及び森林技術センターの廃止

森林管理局等名	森林管理署等名	廃止事務所等の名称
中部森林管理局	(中部森林管理局)	森林技術第一センター
	南信森林管理署	飯田事務所、駒ヶ根森林管理センター
	木曽森林管理署	王滝事務所
(名古屋分局)	岐阜森林管理署	岐阜事務所、荘川事務所

II 組織の設置

1 森林管理局の事務所の設置

森林管理局名	設置事務所の名称	備 考
中部森林管理局	名古屋事務所	分局廃止後に設置

2 森林環境保全ふれあいセンターの設置

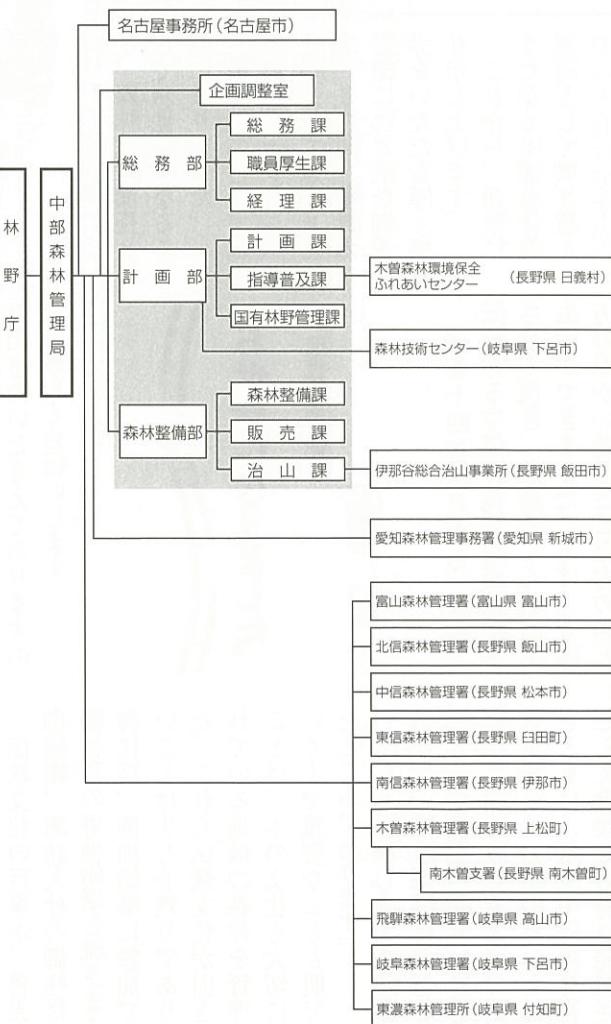
森林管理局名	森林環境保全ふれあいセンターの名称
中部森林管理局	木曽森林環境保全ふれあいセンター

3 総合治山事業所の設置

森林管理局名	総合治山事業所の名称
中部森林管理局	伊那谷総合治山事業所

組織図

(平成16年4月1日現在)



新任幹部あいさつ

次長（名古屋事務所長）
山崎 信介



性を活かした情報の発信に努めるとともに、造林、林道、治山、販売等の事業の実行に関連する技術指導を行つてまいります。

こうした名古屋事務所に求められる機能を十全に發揮できるよう、職員の皆様はもとより、地域にお住まいの皆様や関係機関のご協力を得ながら、各種事業を実行していきたいと考えています。

この一環として、これまでも旧分局で実施してきた、森林や林業に関心を持つていただきたい

四月一日付けの異動によりまして、中部森林管理局次長（名古屋事務所長）を拝命いたしました。当局管内での勤務は初めてでございますので、どうぞよろしくお願いいたします。

国有林野事業の集中改革期間が終了し、新たな国有林の出発点である平成十六年度に、正に抜本的改革の一環として新たに設置された名古屋事務所での勤務ということで、身の引き締まる思いでございます。

担当させていただくのは、旧名古屋分局管内と同様の地域とされており、同地域内での地元関係者との連絡調整、森林管理署への技術指導等を実施することとしております。

こうした活動を通じて、一人でも多くの国有林のサポーターを増やし、名実ともに開かれた「国民の森林」の実現を目指していきたいと考えています。

こうした活動を通じて、一人でも多くの国有林のサポーターを増やし、名実ともに開かれた「国民の森林」の実現を目指していきたいと考えています。

新森林整備部長

川上 利次



四月一日付けの人事異動によ

り、森林整備部長としてお世話になることになりました。

前任地名古屋では業務管理官として、仕事をしてきましたが、この間、職員の皆様には大変な御苦労をいただき厚く御礼申し上げます。

これから、四県にまたがる中部森林管理局として取り組んでいくわけですが、現実にはまだしばら

くの間職員の皆様には御苦労いたることが多いため思います。しかし、当局は、日本の屋根であるアルプスの山々、名古屋市を中心とする大都市圏の人々へのすばらしい森林環境の提供、更に我が国を代表する銘木木曽ヒノキ等の貴重な木材資源の供給等々、日本の森林・林業を代表するすばらしい素材で満ちています。これらのすばらしき素材を真に国民に喜んでいただけるよう全力で取り組んでいきたいと考えております。

当地、長野市は初めての勤務地ですが、周りを美しい山々に囲まれた自然環境の中で皆さんとともに楽しく仕事をさせていただきたくないと考えておりますのでよろしくお願ひします。

この間、職員の皆様には御苦労をいただき厚く御礼申し上げます。振り返って見ますと、平成十四年度は木材収入が伸び悩み、木曽ひのきの価格が急落したことが記憶に新しいところです。一方、檜皮の森をはじめ、伝統文化を支える森林づくりや、赤沢での木材展示エリアの整備等、国民の森としての取り組みも活発となる年度でもありました。平成十五年度は集中改革期間の最終年度として、通達の統一をはじめ名古屋分局との統合等、中部森林管理局として大きな転換期であったと思います。

伝統文化の行事が、善光寺の御柱祭、諏訪大社の御柱祭、伊勢神宮の御柱始祭と続きますが、御開帳、諏訪大社の御柱祭の御柱祭、御柱始祭に参加できることは少し心残りであります。これら伝統文化が引き継がれている地域の森林を管理することは、木の文化を大切にしていく上で重要なことと肌で感じたところであります。

新しく勤務します福井森林管理局は、岐阜森林管理局等の隣接であり緑の回廊等、今後とも何かと関連致しますので引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

新しく勤務します福井森林管理局として取り組んでいくわけですが、皆様の温かい助けとご協力の賜として今後とも益々発展されることを祈念申し上げます。

具体的には、県、関係団体の意見、要望等の把握、二百万都市名古屋市を中心に、地域の特

退官ご挨拶

前分局長 青木勇一郎



なつたことなど、今、思い起こしても感無量の思いに耐えません。今回、退官ということで第二の人生を歩むこととなりましたが、現職中に頂いたご厚誼に改めて御礼申し上げるとともに、今後ともよろしくお願ひ申し上げる次第です。

私こと、この四月一日付をもつて退官致しました。昭和四十八年に入庁して以来三十一年間に及ぶ山官生活となりましたが、

長野局では造林課、王滝宮林署、職員課で、また、名古屋局では分局長として通算八年七ヶ月にわたり、新生なつた中部森林管理局の管内でお世話になつたことになります。

この間、公私にわたつて多くの人と出会い、また、幾多の思い出を築くことができましたが、特に、王滝宮林署長時代には長野県西部地震に遭遇し、その目を覆うような惨状の復旧に局署をあげて、また、峠を挟んだ名古屋局の協力も得ながら汗したこと、そして、この度はその名古屋局の閉局に立ち会うことにもたらし、国民に信頼される國

有林・中部森林管理局としてご発展頂くようご期待申し上げ、併せて皆様のご健勝と益々のご活躍をご祈念して、退官に当た

つてのご挨拶とさせて頂きます。

①綱紀の肅正及び倫理規程の遵守、②研修、③広報、④労使対応、⑤労働安全の確保及び交通事故防止、⑥メンタルヘルス対策等について、

集団改革期間終了後の 新たな年度にあたつて

第一回森林管理署長等会議を開催

四月十五日・十六日、森林管理局において平成十六年度第一次の署長等会議が開催され、新たな国有林の出発点である本年度の業務運営等について打ち合

わせが行われました。

◇ 局長訓示

全体会議では、関局長から

①抜本的改革の集中改革期間における取組に対する感謝、②簡素で効率的な体制の下での名実ともに開かれた「国民の森林」の実現に向けた取組、③収入の確保対策、④森林の公益的機能を重視した国有林野の管理経営の重要性、⑤県・市町村等との十分な意志疎通と連携、⑥労働災害及び交通事故の防止、等について訓示がありました。



署長等会議の様子（大会議室）

◇ 計画部長説明

①林野・土地売り払い等の収入確保、②森林計画、③国民参加の森林づくり、森林環境教育の推進、④NPO等と連携した自然再生、環境教育等新たなニーズへの対応、⑤技術の開発・普及、⑥生物多様性・自然再生への取組、⑦流域管理システムの推進、⑧境界保全管理技術の向上、⑨分収育林の適切な販売に向けた体制の確立、⑩レクリエーションの森の整備等について、

②的確な地元対応、

③円滑、効率的な事業実行の確保等について訓示がありました。

◇ 森林整備部長説明

①平成十五年度事業（販売事業の実行見込み、造林事業）、②平成十六年度事業（林産物等収入額の確保、融雪災害等の対応）、③保安林制度の適正な実施、④請負事業体の労働災害防止等について、の説明がありました。

引き続き各森林管理署長等から連絡、検討事項の説明後、意見交換があり会議を終了しました。

◇ 総務部長説明

①綱紀の肅正及び倫理規程の遵守、②研修、③広報、④労使対応、⑤労働安全の確保及び交通事故防止、⑥メンタルヘルス対策等について、

○記載について
局、課（室）、署、事務所等の
名称については、略称とした。

例・企画調整室II企調室

・伊那谷総合治山事業所II伊那総治

・飯田事務所II飯田所

四月一日付

▽局企調室室長補佐（関東局計画課長補佐） 上條 浩明

▽局職厚課課長補佐（南信署次長） 藤澤 章人

▽北信署次長（中信署次長） 十屋 正泰

▽中信署付（局総務課課長補佐） 佐藤 正治

▽局総務課課長補佐（分局森整第二課課長補佐） 野々川吉弘

▽局企調室企画官（情報システム管理）（局企画調室管理官） 木内 重明

▽局企調室管理官（国管課）（分局森技第二センター副所長） 松井 栄

▽局企調室管理官（国管課）（分局森林管理官） 森事首席森林官 永瀬 広文

▽木曾署敷原森事首席森林官（南木曾支署阿寺森事首席森林官） 官 志水 章彦

▽南木曾支署阿寺森事首席森林官（莊川所業三課長） 中野 尚之

▽局企調室管理官（国管課）（飛騨署流域管理調整官） 岩下 良治

▽局企調室管理官（森整課）（局森整第一課造林技術主任官） 元島 清人

▽局企調室管理官（伊那総治併任）（局治山第一課設計指導官） 田村 英雄

▽局企調室管理官（伊那総治併任）（局治山第一課造林技術主任官） 遠藤 洋一

▽局職厚課企画係長（分局職厚課長） 田中 稔

▽局治山課設計指導官（分局治山第二課課長補佐） 田中 稔

▽局企調室管理官（南信署併任） 大藏 克育

▽局企調室管理官（木曾署併任） 小林 常正

▽中信署流域管理調整官（局総務課研修主任官） 藤井 四郎

▽局総務課研修主任官（分局経理室管理官） 辻ノ内良明

▽木曾ふれあいセンター自然再生指導官（林野庁経営課経営対策官） 中熊 靖

▽木曾ふれあいセンター自然再生指導官（局森技第一センター副所長） 土屋富二男

▽木曾署次長（木曾署総務課長） 勝野 幸男

▽木曾署総務課長（木曾署敷原森事首席森林官） 永瀬 広文

▽農水省出向（南木曾支署総務課長） 佐藤紀世志

▽南木曾支署総務課長（南信署総務課長） 高嶋 正明

▽南信署総務課長（局経理課主計係長） 片岡 清和

▽局経理課主計係長（分局経理室主計係長） 新家 孝之

▽林野庁出向（北信署業務課長） 上田 益大

▽局企調室管理官（国管課）（飛騨署流域管理調整官） 岩下 良治

▽局企調室管理官（森整課）（局森整第一課造林技術主任官） 元島 清人

▽局企調室管理官（伊那総治併任）（局治山第一課設計指導官） 田村 英雄

▽局職厚課企画係長（分局職厚課長） 田中 稔

▽局治山課設計指導官（分局治山第二課課長補佐） 田中 稔

▽局企調室管理官（南信署併任） 大藏 克育

▽局企調室管理官（木曾署併任） 小林 常正

▽中信署流域管理調整官（局総務課研修主任官） 藤井 四郎

▽局総務課研修主任官（分局経理室管理官） 辻ノ内良明

▽木曾ふれあいセンター自然再生指導官（木曾署次長） 相馬 一之

▽木曾署次長（東濃署流域管理調整官） 小木曾基雄

▽木曾署流域管理調整官（木曾生指導官）（局森技第一センター副所長） 土屋富二男

▽木曾ふれあいセンター自然再生指導官（木曾署総務課長） 勝野 幸男

▽木曾署総務課長（木曾署敷原森事首席森林官） 永瀬 広文

▽農水省出向（南木曾支署総務課長） 佐藤紀世志

▽南木曾支署総務課長（南信署総務課長） 高嶋 正明

▽南信署総務課長（局経理課主計係長） 片岡 清和

▽局経理課主計係長（分局経理室主計係長） 新家 孝之

▽林野庁出向（北信署業務課長） 上田 益大

▽局企調室管理官（国管課）（飛騨署流域管理調整官） 岩下 良治

▽局企調室管理官（森整課）（局森整第一課造林技術主任官） 元島 清人

▽局企調室管理官（伊那総治併任）（局治山第一課設計指導官） 田村 英雄

▽局職厚課企画係長（分局職厚課長） 田中 稔

▽局治山課設計指導官（分局治山第二課課長補佐） 田中 稔

▽局企調室管理官（南信署併任） 大藏 克育

▽局企調室管理官（木曾署併任） 小林 常正

▽中信署流域管理調整官（局総務課研修主任官） 藤井 四郎

▽局総務課研修主任官（分局経理室管理官） 辻ノ内良明

▽木曾ふれあいセンター自然再生指導官（木曾署次長） 相馬 一之

▽木曾署次長（東濃署流域管理調整官） 小木曾基雄

▽木曾署流域管理調整官（木曾生指導官）（局森技第一センター副所長） 土屋富二男

▽木曾ふれあいセンター自然再生指導官（木曾署総務課長） 勝野 幸男

▽木曾署総務課長（木曾署敷原森事首席森林官） 永瀬 広文

▽農水省出向（南木曾支署総務課長） 佐藤紀世志

▽南木曾支署総務課長（南信署総務課長） 高嶋 正明

▽南信署総務課長（局経理課主計係長） 片岡 清和

▽局経理課主計係長（分局経理室主計係長） 新家 孝之

▽林野庁出向（北信署業務課長） 上田 益大

▽局企調室管理官（国管課）（飛騨署流域管理調整官） 岩下 良治

▽局企調室管理官（森整課）（局森整第一課造林技術主任官） 元島 清人

▽局企調室管理官（伊那総治併任）（局治山第一課設計指導官） 田村 英雄

▽局職厚課企画係長（分局職厚課長） 田中 稔

▽局治山課設計指導官（分局治山第二課課長補佐） 田中 稔

▽局企調室管理官（南信署併任） 大藏 克育

▽局企調室管理官（木曾署併任） 小林 常正

▽中信署流域管理調整官（局総務課研修主任官） 藤井 四郎

▽局総務課研修主任官（分局経理室管理官） 辻ノ内良明

▽木曾ふれあいセンター自然再生指導官（木曾署次長） 相馬 一之

▽木曾署次長（東濃署流域管理調整官） 小木曾基雄

▽木曾署流域管理調整官（木曾生指導官）（局森技第一センター副所長） 土屋富二男

▽木曾ふれあいセンター自然再生指導官（木曾署総務課長） 勝野 幸男

▽木曾署総務課長（木曾署敷原森事首席森林官） 永瀬 広文

▽農水省出向（南木曾支署総務課長） 佐藤紀世志

▽南木曾支署総務課長（南信署総務課長） 高嶋 正明

▽南信署総務課長（局経理課主計係長） 片岡 清和

▽局経理課主計係長（分局経理室主計係長） 新家 孝之

▽林野庁出向（北信署業務課長） 上田 益大

▽局企調室管理官（国管課）（飛騨署流域管理調整官） 岩下 良治

▽局企調室管理官（森整課）（局森整第一課造林技術主任官） 元島 清人

▽局企調室管理官（伊那総治併任）（局治山第一課設計指導官） 田村 英雄

▽局職厚課企画係長（分局職厚課長） 田中 稔

△東信署川上森事上席森林官（局治山第一課企画係長）小金沢保重	△木曾署木曾福島森事首席森林官（局治山第一課企画係長）木内伸夫
△局治山課企画係長 十屋 幸治	△局指普課企画係長（飛驒署三日町森事森林官）原口竜成
一課保安林係長	△木曾署贊川森事上席森林官（森技第一セントラル森林技術専門官）長島源一
△局治山課保安林係長（林野庁治山課調査係長）三島 文雄	△南木曾支署蘭森事上席森林官（飯田所（森技第一セントラル森林技術専門官）門官）
△南信署業務第二課長（飯田所治山第二課長）白子 和広	△南木曾支署南信署諏訪森事上席森林官（王滝所業二課長）下平 明博
△南信署諏訪南森事上席森林官（王滝所業二課長）下平 明博	△南木曾支署駒ヶ根森事首席森林官（駒ヶ根セントラル副所長）下井田 徹
△南信署豊丘森事首席森林官（駒ヶ根セントラル副所長）下井田 徹	△南信署諏訪南森事上席森林官（王滝所業二課長）岩間 由文
△南信署業務第一課付（駒ヶ根セントラル付）有賀 茂	△南木曾支署須原森事上席森林官（飯田所業二課長）岩間 由文
△南信署業務第一課付（駒ヶ根セントラル付）大前 辰男	△南木曾支署須原森事上席森林官（飯田所業二課長）門官
△木曾署業務第二課長（木曾署業一課長）永瀬 庄栄	△南木曾支署業務課技術専門官（分局販売第二課需要開発係長）
△木曾署業務一課長（王滝所業二課技術専門官）黒田 誠	△南木曾支署業務課技術専門官（王滝所治山課付）鈴木 和雄
△木曾署業務一課技術専門官（王滝所業二課技術専門官）一ノ沢 務	△北信署業務課森林育成係長（北信署業務課造林係）宮嶋 一隆
△木曾署業務一課技術専門官（木曾署業一課技術専門官）遠山 京一	△北信署業務課森林育成係長（北信署業務課造林係）酒井 俊英
△木曾署業務一課技術専門官（木曾署業一課技術専門官）宮下 博幸	△北信署治山課治山第三係長（東信署青木森事森林官）岩崎 剛
△木曾署業務一課土木係長（王滝所業二課治山第一係長）吉澤 克久	△東信署和田森事森林官（東信署御代田森事森林官）伊豆 裕之
△木曾署業務一課技術専門官（木曾署業一課技術専門官）中村 重信	△北信署治山課治山第四係長（北信署裾花川第一治事主任）百瀬 裕章
△木曾署業務一課技術専門官（木曾署業一課技術専門官）所治山第二課治山第一係長）田中 重信	△北信署野沢森事森林官（南信署諏訪南森事森林官）塚中 彰
△木曾署業務一課土木係長（王滝所業一課土木係長）奥原 英	△北信署戸隠森事森林官（中信署上高地森事森林官）堀内 志保
△木曾署業務一課技術専門官（東信署治山課長）松田 博文	△中信署業務課森林ふれあい係長（中信署松本森事森林官）柿澤 靖宏
△木曾署業務一課技術専門官（東信署治山課長）中村 享	△中信署松本森事森林官（南信署田森事森林官）小塚 友和
△木曾署業務一課技術専門官（東信署治山課長）南木曾支署治山第一係長（南木曾支署治山課企画係長）	△中信署業務課土木係長（中信署姫川治事）須田 広明
△北信署業務課経営係長（局総務課人事係）小沢川治事主任	△中信署業務課土木係長（中信署姫川治事）尾近 茂
△北信署業務課経営係長（局総務課人事係）小沢川治事主任	△中信署業務課土木係長（中信署姫川治事）立邊 真悟
△南信署黒河内森事上席森林官（南信署伊那森事森林官）伊藤 明	△南信署黒河内森事上席森林官（南信署伊那森事森林官）伊藤 明
△南信署横川森事森林官（莊川所尾い係長（中信署奈川森事森林	△南信署黒河内森事上席森林官（南信署伊那森事森林官）伊藤 明

- | | | | |
|------------------------------------|---------------------------------------|-----------------------------------|-------------------------------------|
| ▽局企調室管理官（岐阜署併任）岩本道彦 | ▽名古屋所連絡調整官（連絡調整）（局國管理第二課財產管理係長）稻垣正紀 | ▽名古屋所技術指導官（治山）（局治山第二課國有林治山係長）川田溫 | ▽飛驒署業一課技術專門官（莊川所）野田敬一 |
| ▽愛知所上席調整官（愛知所流域管理調整官）立入純夫 | ▽名古屋所連絡調整官（連絡調整）（局計画第一課經營計畫第一係長）花卉永二郎 | ▽名古屋所技術指導官（治山）（局治山第二課保安林係長）梅田英孝 | ▽飛驒署業一課技術專門官（局官）内藤治夫 |
| ▽愛知所流域管理調整官（局国管第一課鑑定員）小坂隆昭 | ▽名古屋所連絡調整官（連絡調整）（局計画第一課經營計畫第一係長）大野裕康 | ▽名古屋所技術指導官（治山）（局治山第二課保安林係長）那須正彦 | ▽飛驒署業一課技術專門官（局官）室崎浩伸 |
| ▽名古屋所上席技術指導官（測定）（局計画第二課測定企画係長）菅野耕治 | ▽名古屋所連絡調整官（連絡調整）（局販売第二課販賣壳係長）筒井雅敏 | ▽愛知所調整官（業務）（愛知所經營企画係長）蓑島國明 | ▽飛驒署業一課技術專門官（局官）蓑島國明 |
| ▽森技センターア副所長（局森整第二課設計指導官）役田学 | ▽名古屋所連絡調整官（連絡調整）（局販賣壳第二課販賣壳係長）柴山健二 | ▽愛知所調整官（業務）（愛知所經營企画係長）小竹尚久 | ▽飛驒署業一課技術專門官（局官）森整第二課林道計画係長）植村政彦 |
| ▽名古屋所上席技術指導官（林道）（局国管第二課企画官）岩木貢 | ▽名古屋所專門官（經理）（局職厚室共濟組合係長）森下さと子 | ▽愛知所技術専門幹（森林活用）（局国管第二課森林利用係長）杉浦光夫 | ▽飛驒署治山課長（東濃署治山課長）曾我義孝 |
| ▽飛驒署付（局国管第二課鑑定官）中谷博 | ▽名古屋所專門官（測定）（局販賣壳第二課企画係長）石田紀代子 | ▽愛知所調整官（治山）（岐阜所治山第一課長）丸毛辰巳 | ▽飛驒署治山課技術専門官（愛知所經營企画係長）大溝敏哉 |
| ▽飛驒署神岡森事首席森林官（愛知所上席調整官）銅島悟 | ▽名古屋所課付（局經理室計理係長）朝倉英子 | ▽愛知所豐田森事上席森林官（環境省名古屋支所）安藤康生 | ▽飛驒署下呂森事上席森林官（森技第二セントラル森林技術専門官）一村正博 |
| ▽飛驒署流域管理調整官（局指普第二課技術主任官）熊沢幸三 | ▽名古屋所課付（局計画第二課付）大森裕司 | ▽愛知所課付（定光寺詰所）（局計画第二課測定実行係長）山田茂樹 | ▽岐阜署治山第二課長（局治山第二課林道実行係長）日置順昭 |
| ▽岐阜署付（局計画第二課地域森林計画官）永治修 | ▽名古屋所課付（局國管第二課監查第二係長）石原壽美子 | ▽愛知所課付（定光寺詰所）（局計画第二課測定実行係長）四ツ嶽誠 | ▽岐阜署下呂森事上席森林官（森技第二セントラル森林技術専門官）一村正博 |
| ▽岐阜署流域管理調整官（岐事流域管理調整官）牧戸祥光 | ▽名古屋所課付（局國管第二課分収林係長）川田竹男 | ▽愛知所課付（定光寺詰所）（局指普第二課普及係長）鈴木正治 | ▽岐阜署七宗森事上席森林官（局職厚室職員厚生企画係長）影山成生 |
| ▽岐阜署流域管理調整官（岐事流域管理調整官）理室課長補佐）小瀬宣男 | ▽局森林所課付（局國管第二課課長）熊崎裕文 | ▽愛知所課付（定光寺詰所）（局指普第二課普及係長）鈴木正治 | ▽岐阜署七宗森事上席森林官（局職厚室職員厚生企画係長）影山成生 |
| ▽岐阜署岐阜森事首席森林官（局経理室課長次長）酒向邦夫 | ▽富山署治山課長（飛驒署治山課長）水間慶一 | ▽東濃署總務課長（飛驒署總務課長）船坂益雄 | ▽岐阜署七宗森事上席森林官（局職厚室職員厚生企画係長）影山成生 |
| ▽飛驒署總務課付（岐阜署技術専門官）西田敦 | ▽富山署治山課長（飛驒署治山課長）野原正張 | ▽東濃署治山課長（局治山課企画係長）牧田政敏 | ▽岐阜署七宗森事上席森林官（局職厚室職員厚生企画係長）影山成生 |
| ▽名古屋所技術指導官（収穫・販売）（局森林所課長）木島伸悟 | ▽飛驒署白川森事上席森林官（局販賣壳課生產係長）武田英雄 | ▽東濃署惠那森事首席森林官（愛知所技術専門幹）橋本角則 | ▽岐阜署七宗森事上席森林官（局職厚室職員厚生企画係長）影山成生 |
| ▽飛驒署總務課付（岐阜署技術専門官）曾我嘉博 | ▽飛驒署白川森事上席森林官（局販賣壳課生產係長）武田英雄 | ▽東濃署東股森事上席森林官（岐阜署業務管理官）山本由郎 | ▽岐阜署七宗森事上席森林官（局職厚室職員厚生企画係長）影山成生 |
| ▽飛驒署流域管理調整官（岐阜署技術専門官）上田實 | ▽飛驒署三日町森事上席森林官（愛知所技術専門幹）橋本角則 | ▽東濃署加子母森事上席森林官（東濃署技術専門官）小林泰喜 | ▽岐阜署七宗森事上席森林官（局職厚室職員厚生企画係長）影山成生 |
| ▽岐阜署岐阜森事首席森林官（局経理室課長）佐々木伸也 | ▽富山署上市森事上席森林官（局国管第二理課企画係長）佐々木雅則 | ▽名古屋所（局職厚室共濟組合係長）筒井康司 | ▽岐阜署岐阜森事首席森林官（局職厚室職員厚生企画係長）影山成生 |

基幹作業員人事

三月三十一日付

平成16年度中部森林管理局 森林ふれあいイベント情報

○森林の市

- 1 開催日：5月22・23日（土・日）
2 場所：東京都代々木公園

○平成16年度ふるさとの森づくり県民の集い

- (第55回長野県植樹祭)
1 開催日：5月29日（土）
2 場所：長野県飯山市池ノ平旧飯山国際スキー場

○中部森林管理局「森林を育てる集い」

- 1 開催日：6月1日（火）
2 場所：東信森林管理署管内長倉山国有林2084林班外
(長野県北佐久郡軽井沢町)
3 募集定員：40名 先着順で定員になり次第締め切ります。
(問い合わせ先：指導普及課：026-236-2624)

○名古屋シティ・フォレスター事業（隊員募集中）

- 緑とのふれあいや森林整備及び自然環境保全活動を行いたい方を対象に、各作業にボランティアで参加していただく「名古屋シティ・フォレスター事業」を実施しています。
・加入資格：各作業に自らの責任において参加できる方。
・加入費：無料、各事業の参加費必要（保険料等）

○森林俱楽部イベント

- 第1回 7月22日（木）
北アルプス八方尾根の高山植物を訪ねて
第2回 10月2日（土）
木曽ヒノキの美林を訪ねて
第3回 11月7日（日）
檜皮の森と田立の滝を訪ねて
特別企画 8月25・26日（水・木）
千曲川源流と甲武信岳を訪ねて
(問い合わせ先：指導普及課：026-236-2624)

○森林ふれあい講座

- 第2回 イベント（森の音乐会）
1 開催日：5月30日（日）
2 場所：森林交流館
第3回 イベント（ホタルの話と観察会）
1 開催日：6月12日（土）
2 場所：森林交流館
(問い合わせ先：名古屋事務所：052-683-9211)

**〈平成16年度「名古屋シティ・フォレスター事業」全体計画予定表〉**

※注：宿泊希望の方には紹介します

回	イ ベ ン ト 名（実施機関）	実施年月日
1	地域の生活を守る：大風除割（防風林）の森林整備（富山森林管理署）	5月14日(金) ※注
2	多くの人が親しみ学べる見本林づくり①（名古屋事務所・愛知森林管理事務所）	5月22日(土)
3	多くの人が親しみ学べる見本林づくり②（名古屋事務所・愛知森林管理事務所）	6月13日(日)
4	荒れ地を治める植栽木を元気に育てる：「雑草からの刈出し作業」（富山森林管理署）	6月23日(水) ※注
5	雑草に負けず大きく育てよう：「下刈作業」（愛知森林管理事務所）	7月25日(日)
6	乗鞍岳の自然を守る活動：貴重な高山植物保護パトロールと登山道の整備作業（飛騨森林管理署）	8月6日(金) ※注
7	「きららの森」に近接する見本林の整備（愛知森林管理事務所）	8月28日(土)
8	台風被害跡地の森づくり：雑草を刈り木の成長を助けよう（名古屋事務所・愛知森林管理事務所）	9月11日(土)
9	みんなで楽しむ明るい森づくり「除伐Ⅱ類（小径木の間伐）と枝打作業」（東濃署）	10月2日(土)
10	未来につなぐ森林技術：楽しく学びながら試験地の整備をしよう（森林技術センター）	10月16日(土)
11	あなたの作業で未来が決まる「枝打作業」（東濃森林管理署）	10月29日(金)
12	間伐作業（岐阜森林管理署）	11月下旬

(問い合わせ先：名古屋事務所：052-683-9211)

お問い合わせは
林野庁共済組合下呂保養所
0576(25)2410まで

ご利用下さい。

▽業務研修（研修所他）	▽新採用研修	▽業務研修	▽中央研修（森林技術総合研修所）
平成十六年度III種採用職員	上島 徳澤（東信署）	那須 田村（中信署）	太田 昭信（伊那総治）
署等の経営係長等	尾近 亀井（愛知所）	近江 駿（木曾署）	井元 幸子（中信署）
5月25日～5月27日	5月12日～5月21日	5月11日～5月14日	4月14日～4月23日
4月7日～4月27日	5月12日～5月21日	5月11日～5月14日	4月14日～4月23日
▽業務研修 収穫研修	▽森林・林業教育I研修	▽I研修	II種前期
▽新採用研修	▽II研修	II種前期	II種前期
▽業務研修	▽III研修	II種前期	II種前期